

第I期

大仙市花火産業構想

アクションプラン

平成26年度～平成30年度

平成27年3月

花火産業構想推進プロジェクト会議

目 次

第1章 事業計画書の概要	1
1. 事業計画書の位置づけ.....	1
2. 計画期間.....	1
3. 計画事業一覧.....	2
4. 推進体制.....	3
5. 指標目標.....	4
第2章 計画事業の内容	10
1. 【施策1】花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり.....	10
1-1 大仙市花火伝統文化継承事業.....	10
1-2 (仮称)花火伝統文化継承資料館整備事業.....	10
1-3 花火文化資料展示事業(大仙市産業展示館等での企画展示).....	10
1-4 花火イベント等情報発信事業.....	11
1-5 まちなか花火デザイン導入事業.....	11
1-6 まちなか花火シアター事業.....	11
1-7 花火庵運営事業(中心市街地にぎわい創出事業).....	11
2. 【施策2】花火を支える人材育成・研究開発の場の創出.....	12
2-1 花火師育成事業.....	12
2-2 花火師確保支援事業.....	12
2-3 花火の共同研究・開発事業.....	12
2-4 花火学習プログラム展開事業.....	12
3. 【施策3】日本屈指の花火製造・打上技術を基盤とする新たな花火生産拠点づくり.....	13
3-1 花火工場運営会社設立事業.....	13
3-2 花火生産拠点整備事業(工場・事務所・研修施設).....	13
3-3 花火生産拠点整備事業(用地造成・雇用助成).....	13
3-4 花火イベント企画運営サポート事業.....	14
4. 【施策4】花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充.....	15
4-1 花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業.....	15
4-2 「花火のまち・大仙」のキャラバン隊事業.....	15
4-3 花火の観光商品開発事業.....	15
4-4 「HANABI」インバウンド推進事業.....	16
4-5 花火ブランド一元化組織づくり事業.....	16
4-6 「花火のまち・大仙」のアンテナショップ整備事業.....	16
4-7 「花火のまち・大仙」の「ひとくちお土産」開発事業.....	17

4-8	くぶらり満喫)「花火のまちのまるごとスタンプラリー」開催事業.....	17
4-9	「花火のまち・大仙」のネット・カタログ通販開発事業.....	17
4-10	「メイド・イン・大仙」の花火玉原料開発・普及事業.....	18
4-11	「大曲の花・美(はな・び)」開発事業.....	18
4-12	国際花火シンポジウム誘致推進事業.....	18
4-13	大曲の花火ウィーク開催事業(だいせん「花火」と「食」のおもてなし事業).....	19
4-14	市内で開催される花火大会等への運営支援.....	19
4-15	「花火のまち・大仙」を支える応援購入制度.....	19
5.	事業スケジュール.....	20

第1章 事業計画書の概要

1. 事業計画書の位置づけ

大仙市は、平成26年度で誕生から10周年を迎えた。また、平成26年は「大曲の花火」が発祥である創造花火が生まれて50周年の記念の年でもある。この大きな節目の年に本市は、大曲商工会議所と大仙市商工会の三者協働により『大仙市花火産業構想 第I期』を策定し、本市が誇る日本最高峰の花火競技大会「全国花火競技大会 大曲の花火」が持つブランド力を最大限活かし、製造業や観光、商業、農業、文化、教育などのさまざまな分野にまたがる発展軸を形成しながら地域活性化に取り組む新たな試みをスタートさせた。

この事業計画書は、『大仙市花火産業構想 第I期』で掲げる目標を達成するために実施する具体的な施策・事業を取りまとめたものである。

「大仙市花火産業構想 第I期」の概要

【目標1】

花火文化に対する理解の深耕拡大と花火に関する人材育成環境の構築を目指す

指標目標

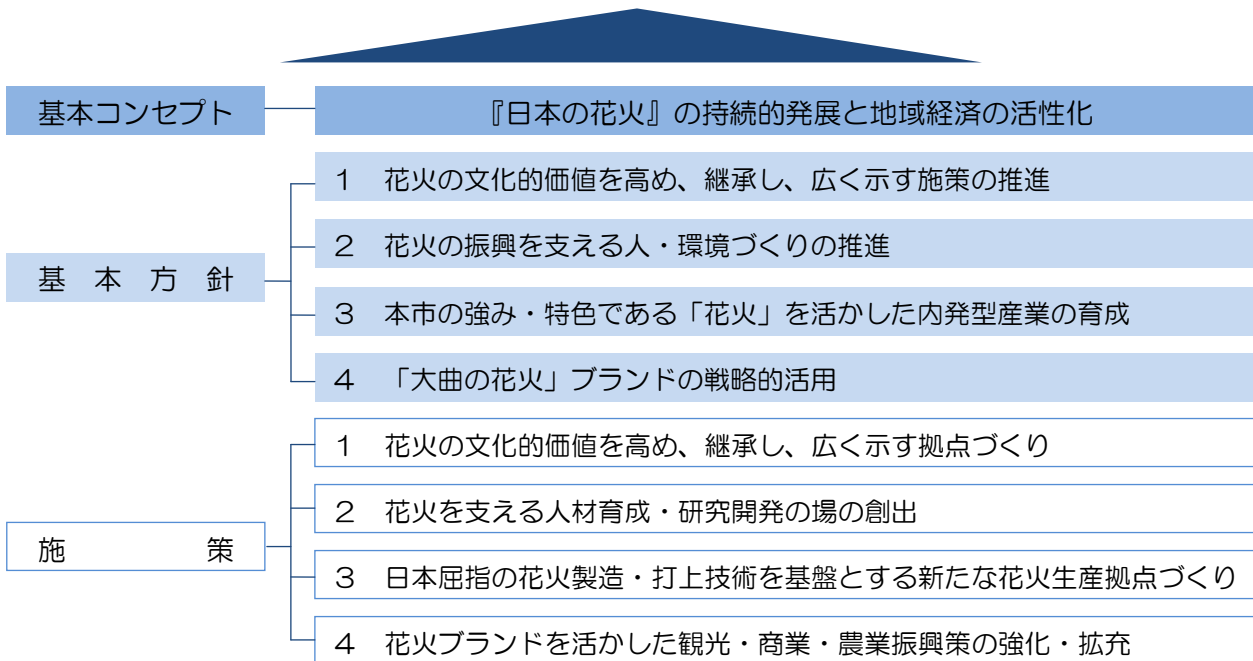
- 花火資料収集点数：5,000点 → 10,000点
- 花火関連施設入場者数：23,283人 → 27,750人
- 花火関連講座受講者数：1,080人 → 2,555人

【目標2】

花火を起点とした地域経済活力の向上と交流人口の増加を目指す

指標目標

- 交流人口：251.8万人/年 → 272万人/年
- 経済波及効果：292億円 → 316億円



2. 計画期間

平成26年4月～平成31年3月（5カ年）

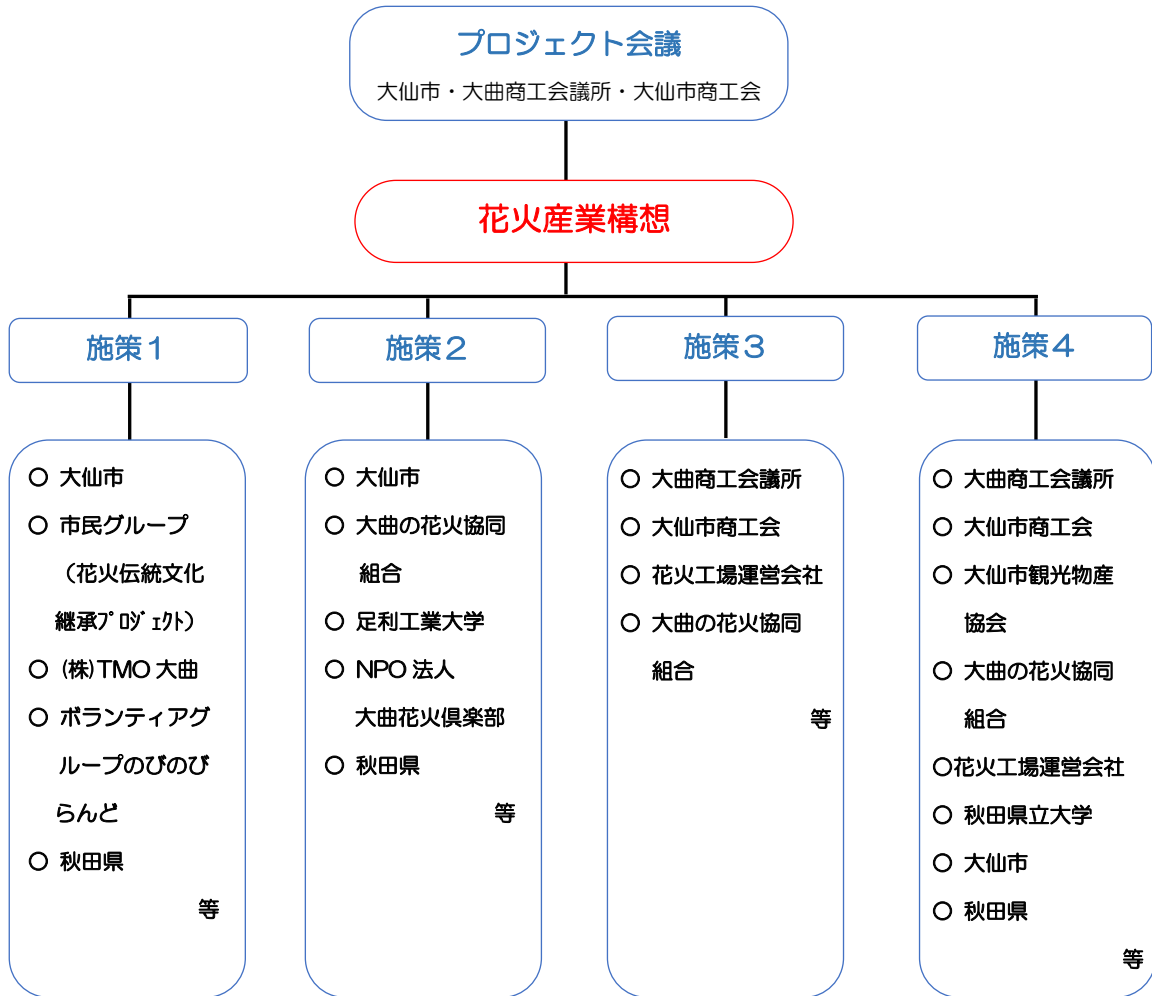
3. 計画事業一覧

【施策1】花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり		
	大仙市花火伝統文化継承事業	1-1
	(仮称)花火伝統文化継承資料館整備事業	1-2
	花火文化資料展示事業(大仙市産業展示館等での企画展示)	1-3
	花火イベント等情報発信事業	1-4
	まちなか花火デザイン導入事業	1-5
	まちなか花火シアター事業	1-6
	花火庵運営事業(中心市街地にぎわい創出事業)	1-7
【施策2】花火を支える人材育成・研究開発の場の創出		
	花火師育成事業	2-1
	花火師確保支援事業	2-2
	花火の共同研究・開発事業	2-3
	花火学習プログラム展開事業	2-4
【施策3】日本屈指の花火製造・打上技術を基盤とする新たな花火生産拠点づくり		
	花火工場運営会社設立事業	3-1
	花火生産拠点整備事業(工場・事務所・研修施設)	3-2
	花火生産拠点整備事業(用地造成・雇用助成)	3-3
	花火イベント企画運営サポート事業	3-4
【施策4】花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充		
	花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業	4-1
戦略的花火ブランド活用 事業	「花火のまち・大仙」のキャラバン隊事業	4-2
	花火の観光商品開発事業	4-3
	「HANABI」インバウンド推進事業	4-4
	花火ブランド一元化組織づくり事業	4-5
	「花火のまち・大仙」のアンテナショップ整備事業	4-6
	「花火のまち・大仙」の「ひとくちお土産」開発事業	4-7
	〈ぶらり満喫〉「花火のまちのまるごとスタンプラリー」開催事業	4-8
	「花火のまち・大仙」のネット・カタログ通販開発事業	4-9
	「メイド・イン・大仙」の花火玉原料開発・普及事業	4-10
	「大曲の花・美(はな・び)」開発事業	4-11
	国際花火シンポジウム誘致推進事業	4-12
	大曲の花火ウィーク開催事業(だいせん「花火」と「食」のおもてなし事業)	4-13
市内各花火大会の支援等	市内で開催される花火大会等への運営支援	4-14
	「花火のまち・大仙」を支える応援購入制度	4-15

4. 推進体制

構想推進統括組織である「花火産業構想推進プロジェクト会議」（大仙市・大曲商工会議所・大仙市商工会）と関係組織・団体との連携のもと、構想に基づいた所要の施策・事業の進行管理、評価を一体的に実施する。

推進体制



5. 指標目標

構想に基づいた所要の施策・事業の進行管理、評価を一体的に実施するため、下記の目標を設定する。

目標1 花火文化に対する理解の深耕拡大と花火に関する人材育成環境の構築を目指す

「花火文化に対する理解の深耕拡大と花火に関する人材育成環境の構築」に係る指標目標として、花火資料収集点数、花火関連施設入場者数、花火関連講座受講者数の3点を設定する。

(1) 花火資料収集点数 構想期間内に 10,000 点を目指す

本市では、市民ボランティアグループとの協働により、「大曲の花火」をはじめとする花火に関する資料の収集・保存を行う「花火伝統文化継承事業」を平成20年度から実施している。本趣旨に賛同していただける団体・個人からのご協力のもと、全国の花火大会の公式プログラムやポスター、花火に関する記録映像や書籍、カレンダーのほか、「大曲の花火」に関する絵コンテや花火会場模型、新聞記事などが集まっており、これまで約5,000点が整理・保存されている。

これらの資料は、将来にわたる花火の貴重な文化的財産となり得るものであり、後世に確実に継承していくことは、「大曲の花火」そして「日本の花火」文化に対する理解の深耕拡大につながるものと考えている。

これを踏まえ、本構想の基本方針に掲げる「花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す施策の推進」として、本事業による全国への資料提供の呼びかけや花火関係団体の協力要請等を行うとともに、(仮称)花火伝統文化継承資料館整備による適切な資料保存環境・受入体制の構築、加えて、この資料館と隣接する大仙市産業展示館との連携による企画展示にあわせた資料収集PRなどを実施し、構想期間内に収集資料10,000点を目指すこととする。

【目標値・現状値・主な事業】

		花火資料収集点数
現状値 (H25.12)		5,000 点
↓	○ 大仙市花火伝統文化継承事業による効果	5,000 点
	○ (仮称)花火伝統文化継承資料館整備による効果	
	○ 花火文化資料展示事業による効果	
目標値 (H30年度)		10,000 点

(注) 現状値と目標値の間に記載してある数値は、事業計画期間内(5カ年)に増やすことを目指す目標値であり、単年度の目標値ではない。以下、同様である。


(2) 花火関連施設入場者数 構想期間内に 4,467 人の増加を目指す

本市における主要な花火関連施設については、花火通り商店街内にある「花火庵」及び大仙市産業展示館の 2 つの施設がある。花火庵は、花火玉の模型や打上筒などの展示コーナーが常設されており、また、大仙市産業展示館についても、花火の大凧やポスター、歴史的資料などが施設の一角に常設展示されており、「大曲の花火」開催当日を中心に花火ファンが訪れるスポットとなっている。

こうした花火関連施設に市内外から多くの方が訪れることは、花火を知り、学び、花火文化に触れる機会の増加につながることから、「大曲の花火」そして「日本の花火」文化に対する理解の深耕拡大につながるものと考えている。

これを踏まえ、本構想の基本方針に掲げる「花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す施策の推進」として、(仮称)花火伝統文化継承資料館整備とあわせ大仙市産業展示館等で企画展示を行う花火文化資料展示事業により、構想期間内に施設入場者増加数 4,467 人を目指すこととする。

【目標値・現状値・主な事業】

		花火関連施設入場者数
現 状 値 (H24年度)		23,283 人
	○ 大仙市花火伝統文化継承事業による効果	4,467 人
	○ (仮称)花火伝統文化継承資料館整備による効果	
	○ 花火文化資料展示事業による効果	
目 標 値 (H30年度)		27,750 人

〔目標値の推計〕

- H24 年度の花火関連施設入場者数 23,283 人（花火庵 16,465 人、大仙市産業展示館 6,818 人）
- 花火関連施設において増加する入場者を次のとおり推計する。

【花火庵の入場者数の推計】

H24 年度の花火庵入場者数 16,465 人のうち、「大曲の花火」が開催される 8 月には 6,027 人の入場があった。このことは、花火関連施設として広く認知されていることを示すものであり、本構想に基づく各種取り組みにより、現状値を上回る入場者数を見込めるものと考えている。しかしながら、ここではより実現性を考慮し、現状の入場者数と同数を見込むこととする。

【産業展示館の入場者数の推計】

H24.8 実施の大仙市産業展示館花火企画展示による 1 日当たりの入場者数を参考に、当該施設を訪れる人数を推計する。ただし、この企画展示が「大曲の花火」開催日前後に実施したものであり、年を通してこの入場者数が確保できるとは考えにくいことからこのまま用いず、実現性を考慮し、1/2 を乗じて得た数

を1日当たりの入場者数として設定し、産業展示館の年間入場者数を推計する。

(産業展示館花火企画展示での実績)


- ・企画展示期間 H24.8.18～8.26 のうち8日間で600人が来場
- ・1日当たりの入場者数 600人 ÷ 8日 = 75人/日 → 37人/日... ①
- ・①×開館日数 305日 = 11,285人/年... ②
- ・入場者増加数②11,285人 - H24年度入場者数 6,818人 = 4,467人

（3）花火関連講座受講者数 構想期間内に1,475人の増加を目指す

今後の「日本の花火」あるいは「大曲の花火」を発展させていく上で人材の育成と不断の研究・開発が重要であるとの考えのもと、花火を支える人材育成・研究開発の場の創出として、関係機関等からの協力をいただきながら既存専門校への講座等の設置について検討することとしている。

人材育成・研究開発の場の創出は、花火文化に対する理解の深耕拡大と花火に関する人材育成環境の構築に資するものであり、本構想の基本方針に掲げる「花火の振興を支える人・環境づくりの推進」として、花火師育成事業や花火を鑑賞する立場の人を対象とした花火学習プログラム展開事業の実施により、構想期間内に花火関連講座受講者増加数1,475人を目指すこととする。

【目標値・現状値・主な事業】

		花火関連講座受講者数
現状値 (H24)		1,054人
	○ 花火師育成事業	1,475人
	○ 花火学習プログラム展開事業	
目標値 (H30)		2,529人

[目標値の推計]

- H24年度の花火関連講座受講者 1,054人 (花火観賞士セミナー1,000人、花火観賞士のつどい 54人)
- 花火師育成事業、花火学習プログラム展開事業により花火関連講座の開設を想定。
 資格取得講座・在職者スキルアップ講座 25人、高校生対象の特別講座 650人
 花火学習プログラム展開事業 800人 受講者増加数の計 1,475人

目標 2 花火を起点とした地域経済活力の向上と交流人口の増加を目指す

「花火を起点とした地域経済活力の向上と交流人口の増加」に係る指標目標として、交流人口（年間観光入込客数）とその経済波及効果の2点を例示する。

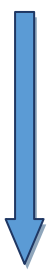
（1）交流人口（年間観光入込客数） 構想期間内に 20.2 万人の増加を目指す

（2）交流人口増加による経済波及効果 構想期間内に 2,344 百万円の増加を目指す

本構想では、地域経済の活性化を大命題として捉え、その実現を図るために「本市の強み・特色である「花火」を活かした内発型産業の育成」や「観光、商業、農業等様々な分野における「大曲の花火」ブランドの戦略的活用」などの基本方針のもと、新たに花火工場を建設する花火生産拠点整備事業や、その花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業、「大曲の花火」のブランド力を活かした観光・商業・農業の振興方策である戦略的花火ブランド活用事業のほか、世界規模の花火関連会議の誘致を行う国際花火シンポジウム誘致推進事業などの実施を想定している。

これにより、直接的あるいは間接的に多くの経済波及効果をもたらし、地域経済の活性化に寄与するものと考えている。本構想に基づく施策・事業の推進による指標目標として、交流人口（年間観光入込客数）の20.2万人増加と、それによって得られる経済波及効果2,344百万円の発現を目指すものとする。

【目標値・現状値・主な事業】

		交流人口	経済波及効果
現状値（H24年度）		251.8万人	29,217百万円
	○ 花火生産拠点整備事業	20.2万人	2,344百万円
	○ 花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業		
	○ 戦略的花火ブランド活用事業		
	○ 国際花火シンポジウム誘致推進事業ほか		
目標値（H30年度）		272万人	31,561百万円

〔目標値の推計〕

- 交流人口の目標値（H30）は、現状値（H24）の8%増の272万人／年と設定する。
- 経済波及効果は「国土交通省観光庁 旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究（平成22年3月）」を参考に、「平成17年秋田県産業連関表（36部門分類・平成25年3月更新）」を用いて、交流人口（観光入込客数）に基づき推計する。

◆推計にあたっては算定に用いる最終需要額を本市来訪者の地域内推計消費額とし、交流人口増加に資するイベントや施設運営等に係る地域内支出を最終需要に含まない簡易的な方法により試算するものとする。

◆本構想に掲げる事業の推進により増加を目指す交流人口（観光入込客数）を20.2万人／年とする。

◆最終需要額は、次のとおり算定する。

本構想の推進により増加を目指す交流人口（観光入込客数）	202,000 人／年	①
(1) 増加する宿泊客の推計		
・宿泊客数 = ① × 宿泊率6%(H24 大仙市 県内外)	12,120 人／年	②
・県外宿泊客数 = ② × 県外客宿泊率	7,830 人／年	A
・県内宿泊客数 = ② × 県内客宿泊率	4,290 人／年	B
(2) 増加する日帰り客の推計		
・日帰り客数 = ① - ②	189,880 人／年	③
・県外日帰り客数 = ③ × 県外日帰り客率	92,851 人／年	C
・県内日帰り客数 = ③ × 県内日帰り客率	97,029 人／年	D
(3) 増加する需要額(消費額)の推計		
・県外宿泊客 A × 消費単価(県外宿泊)	341,218,311 円／年	
・県内宿泊客 B × 消費単価(県内宿泊)	106,528,328 円／年	
・県外日帰り客 C × 消費単価(県外日帰り)	846,525,484 円／年	
・県内日帰り客 D × 消費単価(県内日帰り)	574,021,671 円／年	
合計	1,868,293,794 円／年	

＜パラメータ＞		
・宿泊率(県内外)	6.00%	(H24 大仙市)
・県外客宿泊率	64.60%	(H24 秋田県観光統計)
・県内客宿泊率	35.40%	(H24 秋田県観光統計)
・県外日帰り客率	48.90%	(H24 秋田県観光統計)
・県内日帰り客率	51.10%	(H24 秋田県観光統計)
・消費単価(県外宿泊)	43,581 円	(H24 秋田県観光統計)
・消費単価(県内宿泊)	24,829 円	(H24 秋田県観光統計)
・消費単価(県外日帰り)	9,117 円	(H24 秋田県観光統計)
・消費単価(県内日帰り)	5,916 円	(H24 秋田県観光統計)

◆最終需要の振り分け

国土交通省観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究（平成22年3月）」を参考に、産業部門別に最終需要額を振り分けた。

(単位：百万円)

no	産業部門	需要額	no	産業部門	需要額
1	農業	9	19	精密機械	11
2	林業	1	20	その他の製造工業製品	15
3	漁業	11	21	建設	0
4	鉱業	0	22	電力・ガス・熱供給	0
5	飲食料品	144	23	水道・廃棄物処理	0
6	繊維製品	51	24	商業	194
7	パルプ・紙・木製品	3	25	金融・保険	4
8	化学製品	13	26	不動産	32
9	石油・石炭製品	102	27	運輸	577
10	窯業・土石製品	4	28	情報通信	7
11	鉄鋼	0	29	公務	0
12	非鉄金属	0	30	教育・研究	16
13	金属製品	0	31	医療・保健・社会保障・介護	4
14	一般機械	0	32	その他の公共サービス	3
15	電気機械	0	33	対事業所サービス	27
16	情報・通信機器	21	34	対個人サービス	619
17	電子部品	0	35	事務用品	0
18	輸送機械	0	36	分類不明	0
				合計	1,868

◆経済波及効果の推計

「平成17年秋田県産業連関表（36部門分類・平成25年3月更新）」を用いて推計する。

（単位：百万円、人）

				従業者数 誘発数	雇用者数 誘発数
	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額		
直接効果	1,503	790	420	178	142
第1次波及効果	549	303	133	62	37
第2次波及効果	292	186	70	27	19
総合効果	2,344	1,280	622	267	198
波及効果倍率（倍）	1.25				

- ※ 波及効果倍率は当初設定の最終需要増加額に対するものとする。
- ※ 生産誘発額、粗付加価値誘発額、雇用者所得誘発額は、端数処理の関係で内訳の計と合計が一致しない場合がある。
- ※ 逆行列係数は、開放経済型を使用する。
- ※ 効果算定に係る最終需要増加額(直接)は県内自給率を用いて算定した。（自給可能分野は実態に即して変更）

第2章 計画事業の内容

1. 【施策1】花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり

日本の伝統的文化である「花火」は、本市を含め我が国の経済社会発展に様々な形で恩恵をもたらしており、その持続的な発展は、今後の地域の発展にとって重要な意味を持つものと考えている。これを踏まえ、「日本の花火」の持続的発展に向けた方策のひとつとして、花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す施策の推進を図ることとする。

1-1 大仙市花火伝統文化継承事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>花火は本市の地域文化として深く根ざしており、本市は花火とともに発展を続ける「花火のまち」である。</p> <p>本市の責務として、事業目的を共有する市民グループとともに花火に関する資料の収集・保存を行うことで、花火を伝統文化として確立し、貴重な文化的財産を後世に確実に継承していく。</p>	26～30	3,300	大仙市 市民グループ (花火伝統文化継承プロジェクト)

1-2 (仮称) 花火伝統文化継承資料館整備事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>花火伝統文化の研究・継承に資する施設として、既存生涯学習施設の改築と組み合わせた(仮称)花火伝統文化継承資料館を整備する。隣接する大仙市産業展示館での効果的な花火資料展示とあわせ、花火文化の価値向上を図り、後世に継承していく拠点施設とする。</p>	26～30	900,000 (既存施設解体、外構工事費等含む)	大仙市

1-3 花火文化資料展示事業 (大仙市産業展示館等での企画展示)

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>(仮称)花火伝統文化継承資料館に隣接する大仙市産業展示館等において定期的な企画展示を行うことで、保存する花火資料の有効活用を図り、花火伝統文化を発信する。大仙市産業展示館は展示効果を高めるための改修を行う。</p>	27～30	35,000	大仙市 市民グループ (花火伝統文化継承プロジェクト)

1-4 花火イベント等情報発信事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>花火鑑賞士の資格を有するパーソナリティーによるコミュニティFMを通じた花火情報・各種イベント情報等花火のまちならではの情報発信を行う。</p> <p>また、FMスタジオ周辺広場での毎月のイベント実施時、来場者に花火情報を発信する。</p>	27～ 30	8,000	大仙市 TMO 大曲 等

1-5 まちなか花火デザイン導入事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>花火通り商店街や大曲通町地区第一種市街地再開発事業で整備される広場等への花火モニュメント・花火サインの設置、花火をモチーフにした道路等付属施設の整備、花火イルミネーションの設置など「花火のまち大仙」を印象づける取り組みを行う。</p>	27～ 29	22,000	大仙市

1-6 まちなか花火シアター事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>大曲通町地区第一種市街地再開発事業で整備する南街区建築物壁面や施設等を活用した花火映像の映写など「花火のまち大仙」を印象づける取り組みを行う。</p> <p>大曲の花火をはじめ、市内開催の各花火大会の映像を映写し、本大会の誘客を図る。</p>	27～ 30	6,200	大仙市

1-7 花火庵運営事業（中心市街地にぎわい創出事業）

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>花火通り商店街にある空き店舗を活用したにぎわい創出施設「花火庵」を開設、NPO 法人大曲花火倶楽部による花火資料展示スペース「花火屋」、観光物産協会事務局、ボランティアグループのびのびらんの活動スペース等、様々な機能を有する複合施設としてまちなかのにぎわいの創出と花火資料展示を通じた花火文化の情報発信を行う。</p>	26～ 30	20,200	大仙市 大曲花火倶楽部 観光物産協会 のびのびらんど

2. 【施策2】花火を支える人材育成・研究開発の場の創出

花火の発展には技術的・科学的な研究・開発が行える場の創出や花火師がスキルアップできる環境づくりが必要であること、安全・環境対策に対応できる優れた人材の確保が課題となっていることなどを踏まえ、「日本の花火」の持続的発展に向けた方策のひとつとして、花火を鑑賞する立場の人も含めた花火の振興を支える人・環境づくりの推進を図ることとする。また、花火を専門的に学ぶ場の将来的な設置を検討し、次のステップに繋げていくこととする。

2-1 花火師育成事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
安全で高品質な花火玉を製造する職人育成のため、花火の製造、取扱いに必要な資格取得講座の開設、花火師の技術向上を目的としたスキルアップ講座の開講、高校生を対象とした足利工業大学（花火大学院）の特別講座開講などの取り組みを行う。	27～ 30	5,700	足利工業大学 大山市 秋田県

2-2 花火師確保支援事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
市内外の花火会社による合同就職面接会を開催し、講座履修者との就職マッチング支援を実施する。	27～ 30	200	大山市

2-3 花火の共同研究・開発事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
足利工業大学（花火大学院）、大曲の花火協同組合と連携し、新素材（火の粉剤、色煙剤、発光薬、発射薬・割薬、発音薬）の開発や煙火の分析（技術、安全性）、新作花火の研究開発等の取り組みを行う。	27～ 30	21,800	花火協同組合 足利工業大学 大山市

2-4 花火学習プログラム展開事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
花火を鑑賞する立場から花火の振興を支える人材の育成を図るため、市内外の人たちを対象に花火の学習プログラムを展開し、学び親しむ機会を提供する取り組みを行う。	27～ 30	3,300	大曲花火倶楽部

3. 【施策3】日本屈指の花火製造・打上技術を基盤とする新たな花火生産拠点づくり

日本最高峰の花火競技大会「大曲の花火」が本市のシティ・アイデンティティとなっていること、本市には花火製造会社が集積し花火産出地となっていること、安全性の高い国内産花火玉の需要が高まっていることなどを踏まえ、地域経済の浮揚、特色ある強い産業づくりに向けた方策のひとつとして、本市の強み・特色である「花火」を活かした内発型産業の育成を図ることとする。

3-1 花火工場運営会社設立事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
花火工場を運営する新たな法人を設立する。大曲商工会議所、大仙市商工会を中心に広く出資を募り、地元花火会社からの技術的支援・協力を得ながらの運営を想定している。	26～ 27	3,600	商工会議所 商工会 等

3-2 花火生産拠点整備事業（工場・事務所・研修施設）

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
花火玉製造、イベントサポート、観光の各部門で構成される新法人を民間出資で設立（27年度）し、大仙市を「花火の総合拠点」とすると共に、「花火」を活かした内発型産業の育成に向けた取り組みにより通年観光の実現を図る。 各工室（配合、星掛、仕込、玉貼）、乾燥室、火薬庫等を備え、就業60人を想定した工場、事務所、会議室や研修室を完備した研修施設を建設する（27～28年度）。 地元花火業者からの委託加工や全国・海外の花火業者へ「メイド・イン・大仙」の花火玉等の販売を展開する。また、モニター見学可能な工場とし、観光誘客を図る。	27～ 30	502,100	事業3-1の花 火工場運営会社 大仙市

3-3 花火生産拠点整備事業（用地造成・雇用助成）

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
本市の強み・特色である「花火」を活かした内発型産業の育成に向けた取り組みとして行われる新たな花火生産拠点づくりに対し花火生産拠点の用地造成と雇用助成の支援措置を講ずる。	26～ 30	127,600	大仙市

3-4 花火イベント企画運営サポート事業

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>地元花火師と連携した取り組みとして、各地で開催される花火大会の企画・花火打上等をサポートする事業に取り組む。将来的にはグローバルな視点から海外への事業展開、プロモート等も検討する。</p>	<p>27～ 30</p>	<p>イベント主催者 でないため 未記載</p>	<p>事業3-1の花 火工場運営会社</p>

4. 【施策4】花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充

「大曲の花火」は、飲食、宿泊、卸・小売、交通等、様々な経済波及効果をもたらすことに加え、本市の県内外へのPRやイメージアップなどに大きく貢献しているが、そのブランド力が様々な産業分野へ付加価値として波及するまでには至っていないことから、地域経済の浮揚、地域間競争を生き抜くための特色ある強い産業づくりに向けた方策のひとつとして、観光、商業、農業等様々な分野において、「大曲の花火」ブランドの戦略的活用を図ることとする。

4-1 花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
新たに建設される花火工場とその周辺エリアにある総合公園や農業科学館を活用し、花火玉づくりのモニター見学と花火の模擬玉製造体験、プライベート花火の打上、花火ダリアの植栽・展示などを行い、花火観光エリアとして通年観光の取り組みを推進する。	28～ 30	1,500	事業3-1の花火工場運営会社 商工会議所 商工会 観光物産協会 大仙市 秋田県 等

4-2 「花火のまち・大仙」のキャラバン隊事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
「大曲の花火」公式キャラクター「つつどん&たまちゃん・はなちゃん」及び大仙市マスコットキャラクターでキャラバン隊を組織し、「花火のまち 大仙」の食や観光地、花火などを様々なメディアを通じて全国にPRすると同時に、モニターツアー等を実施する。	27～ 30	21,600	商工会議所 商工会 観光物産協会 大仙市

4-3 花火の観光商品開発事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
地域の新たな観光ルートとして花火の模擬玉製造体験や製造工程のモニター見学を含めた観光商品を開発する。普段は見られない花火玉づくりの舞台裏や花火師の苦労話を観光ルート化する。また、花火鑑賞士による花火講座やアンテナショップ、市内宿泊施設及びグリーン・ツーリズムなどとセットで「花火のまち」の通年観光を推進する。	29～ 30	4-1花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業を含む	事業3-1の花火工場運営会社

4-4 「HANABI」インバウンド推進事業

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>海外で開催される旅行商品造成の商談会参加や各国の旅行エージェント招聘、2017年の国際花火シンポジウム誘致に向けた海外でのPR活動により大仙市の伝統文化などの売り込みを行う。</p> <p>また、東北を代表する観光地を擁する仙北市等圏域の市町と広域観光で連携を図りながら進めるほか、外国人が宿泊しやすい環境を整備することで、外国人のインバウンド観光につなげる。</p>	27～ 30	19,600	商工会議所 商工会 観光物産協会 大仙市 等

4-5 花火ブランド一元化組織づくり事業

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>地域ステークホルダー（観光物産協会、商工会、商工会議所、大仙市等）による商品開発・イベント等の企画・調整、各種マーケティング調査に基づくプランの点検・ブラッシュアップ、商標等の適正使用推奨などを一元的に行う組織づくりを進め、ブランドづくりとブランド管理を実施する。</p>	28～ 30	1,000	観光物産協会 商工会 商工会議所 大仙市 等

4-6 「花火のまち・大仙」のアンテナショップ整備事業

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>道の駅などの既存施設を活用したアンテナショップを整備し、花火関連グッズや「ひとくちお土産」開発事業で新たに開発したお土産、特産品、地域で採れる農産物、ご当地グルメなどを提供する。</p>	28～ 30	3,000	観光物産協会 商工会 商工会議所 大仙市 等

4-7 「花火のまち・大仙」の「ひとくちお土産」開発事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
「大曲の花火」をはじめ各地域の花火大会の観覧客を対象にしたお土産開発に取り組む。大仙のお土産を観覧客のさまざまなニーズに合わせてブラッシュアップするほか、県内他地域の伝統的工芸品や特産品とコラボした商品の開発も視野に、デザインやサイズ、価格設定、ストーリーなど、統一コンセプトのもとで新たに開発したお土産を提供する。	27～ 30	14,200	観光物産協会

4-8 〈ぶらり満喫〉「花火のまちのまるごとスタンプラリー」開催事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
市内で毎月打ち上げられる花火大会を巡るスタンプラリーを実施する。各会場内に設置されたスタンプを集め、景品が当たる抽選券として応募してもらうことで、回遊性の創出や継続的な誘客につなげる。 景品は、市内の特産品や限定品等、観覧客に魅力あるものを選定する。	27～ 30	6,200	商工会

4-9 「花火のまち・大仙」のネット・カタログ通販開発事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
「花火のまち」のおみやげを扱った非店舗型のショッピングツール（web やカタログ）を制作し、花火観覧客をはじめとする全国の消費者に向けて、地域の特産物の販売促進を図る。	27～ 30	40,800	観光物産協会

4-10 「メイド・イン・大仙」の花火玉原料開発・普及事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>秋田県立大学と連携し、冬期間のハウス園芸用熱源として利用しているもみ殻（くん炭）や間伐材の松をはじめとする地域の農林資源の活用を研究し花火の炭材に使用した「メイド・イン・大仙」の花火玉をつくる。研究成果は、新たな花火会社で炭材として加工し自社の製品利用のほか炭材として供給し、製品出荷と雇用の創出を図る。</p> <p>また、市内事業者が開発し「ものづくり日本大賞」で優秀賞を受賞したエコ玉皮（生分解性プラスチックを用いた玉皮）の普及促進に取り組む。</p>	27～ 29	18,200	花火協同組合 秋田県立大学 大仙市

4-11 「大曲の花・美（はな・び）」開発事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>花火を連想させるダリアの新品種を開発し、市内農家への栽培普及や新規就農者研修施設にて研修者への栽培実施をすることにより産地化を図り、「八重芯」「花火」「大曲」などの名称をつけ「大曲の花・美」ダリアとしてブランド化し販売する。</p> <p>また、市内の酒造会社と連携しダリアの球根を原料としたダリア焼酎等の製造に取り組む。</p> <p>市内生花店や酒造会社からの全国発送、インターネット販売、品種を限定しての市内道の駅、直売所等でのご当地限定販売などにより全国展開や誘客を図る。</p>	27～ 30	18,300	観光物産協会 酒造会社 大仙市 等

4-12 国際花火シンポジウム誘致推進事業

事業概要	計画年度	計画年度の総事業費 (単位：千円)	実施主体
<p>第16回国際花火シンポジウムの誘致推進活動を展開するとともに、受入体制の構築を図る。</p> <p>また、誘致が決定した場合は、28年度の桜の開花時期に合わせてイベントの花火大会を開催し、29年度のシンポジウム開催期間中は、毎晩花火を打ち上げ、国内外の参加者に「大曲の花火」、「日本の花火」のPRを図る。</p>	28～ 29	220,000	商工会議所

4-13 大曲の花火ウィーク開催事業（だいせん「花火」と「食」のおもてなし事業）

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
豊富な地域資源を活かしたイベント「大曲の花火ウィーク」を開催する。「大曲の花火」一週間前から花火や食、音楽をテーマにした創意工夫に富んだ各種イベントを実施し、来街動機の創出と継続的な賑わいづくりにより地域の活性化を図る。	26～ 30	38,600	商工会議所 (大曲の花火ウィーク実行委員会)

4-14 市内で開催される花火大会等への運営支援

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
神岡南外花火大会や協和七夕花火大会（女性花火師大会）、榑岡さなぶり酒花火、余目さくら花火鑑賞会など、市内各地で毎月打ち上げられる特色ある花火大会等の開催を推進・支援する。新たな花火大会を開催するほか、既存花火大会に共同研究や原料開発事業の成果発表会を盛り込むなど付加価値をつける。	26～ 30	83,700	商工会議所 商工会 大仙市 等

4-15 「花火のまち・大仙」を支える応援購入制度

事業概要	計画年度	計画年度の 総事業費 (単位：千円)	実施主体
「花火のまち・大仙」を応援する市民意識の醸成を図るため、『大曲の花火』の応援購入マーク（ロゴ）を貼った飲料・食品等を購入してもらうことで、販売代金の一部を各地域のまちづくり事業・イベント事業等の資金に充てる寄付制度を創設・普及させる。	28～ 30	20,000	4-5の組織

5. 事業スケジュール

事業名	
【施策1】花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり	
大仙市花火伝統文化継承事業	1-1
(仮称)花火伝統文化継承資料館整備事業	1-2
花火文化資料展示事業(大仙市産業展示館等での企画展示)	1-3
花火イベント等情報発信事業	1-4
まちなか花火デザイン導入事業	1-5
まちなか花火シアター事業	1-6
花火庵運営事業(中心市街地にぎわい創出事業)	1-7
【施策2】花火を支える人材育成・研究開発の場の創出	
花火師育成事業	2-1
花火師確保支援事業	2-2
花火の共同研究・開発事業	2-3
花火学習プログラム展開事業	2-4
【施策3】日本屈指の花火製造・打上技術を基盤とする新たな花火生産拠点づくり	
花火工場運営会社設立事業	3-1
花火生産拠点整備事業(工場・事務所・研修施設)	3-2
花火生産拠点整備事業(用地造成・雇用助成)	3-3
花火イベント企画運営サポート事業	3-4

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
	資料収集・整理・保存の継続				
	現地測量 整備基本計画策定	基本設計	実施設計 既存施設解体工事	建設工事	開館 既存施設解体・外構工事
		企画展示		企画展示 展示設備改修工事	企画展示
		コミュニティFMによる情報発信			
		構築物設置可能性調査 モニュメント設置	モニュメント・サイン設置		
		映像制作・映写			
	花火庵の各取組みを継続				
		各年度で下記講座を開講 ①花火製造等に必要資格取得講座 ②在職者スキルアップ講座 ③高校生対象の特別講座			
		各年度で資格取得講座の受講者を対象に合同就職面接会を開催			
		産学官連携協定締結 共同研究開始	共同研究継続		
		関係団体との調整 学習プログラム開始	学習プログラム継続		
	定款等作成 出資金公募	会社設立			
		設計、許可取得 事務所建設	工場建設 仮操業	本格操業	
	適地選定	工場用地造成、建設費補助			
		雇用助成			
		企画、提案、運営 (秋、冬の花火)	企画、提案、運営 (四季の花火、他)		

事業名		
【施策4】花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充		
花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業		4-1
戦略的花火ブランド 活用事業	「花火のまち・大仙」のキャラバン隊事業	4-2
	花火の観光商品開発事業	4-3
	「HANABI」インバウンド推進事業	4-4
	花火ブランド一元化組織づくり事業	4-5
	「花火のまち・大仙」のアンテナショップ整備事業	4-6
	「花火のまち・大仙」の「ひとくちお土産」開発事業	4-7
	〈ぶらり満喫〉「花火のまちのまるごとスタンプラリー」開催事業	4-8
	「花火のまち・大仙」のネット・カタログ通販開発事業	4-9
	「メイド・イン・大仙」の花火玉原料開発・普及事業	4-10
	「大曲の花・美（はな・び）」開発事業	4-11
国際花火シンポジウム誘致推進事業		4-12
大曲の花火ウィーク開催事業（だいせん「花火」と「食」のおもてなし事業）		4-13
市内各花火大会の 支援等	市内で開催される花火大会等への運営支援	4-14
	「花火のまち・大仙」を支える応援購入制度	4-15

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
			モニター見学施設及び模擬玉製造体験施設の整備	プライベート花火、ダリア展示等の展開	
		キャラバン活動開始			
				観光ツアー受け入れ	
		旅行商談会参加、国際花火シンポジウム誘致活動	旅行商談会参加の継続		
			準備組織設置、先行事例調査、関係団体との調整	新組織設立 事業開始	
			企画・調整 立地選定	店舗整備 開業	
		デザイン・商品開発 市場テスト	商品拡充、販路拡充		
		企画・調整 第1回事業開始	花火大会に合わせて継続実施		
		web・カタログ制作 事業開始	商品拡充・入れ替え		
		調査・研究・試作・打上 エコ玉皮普及促進	試験供給開始 エコ玉皮普及促進	市内事業者の本格供給開始、エコ玉皮普及促進	
		新品種開発、商標登録 市場調査、増殖	販路開拓 新品種開発～増殖	本格的な販売開始 PR、新品種開発～増殖	
			国際花火シンポジウム開催支援準備、プライベート	国際花火シンポジウム開催	
			制度設計・ロゴ作成 協力企業募集	事業開始 協力企業拡充、PR	

大仙市花火産業構想 第Ⅰ期
アクションプラン
平成 27 年 3 月

策定 花火産業構想推進プロジェクト会議
(大仙市・大曲商工会議所・大仙市商工会)

発行 大仙市

〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町 1 番 1 号
TEL 0187-63-1111 FAX 0187-63-1119
<http://www.city.daisen.akita.jp>